

愛媛県の地震

2022年（令和4年）8月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（8月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（8月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（8月）	2
5. 地震一口メモ 南海トラフ地震に関する情報	3

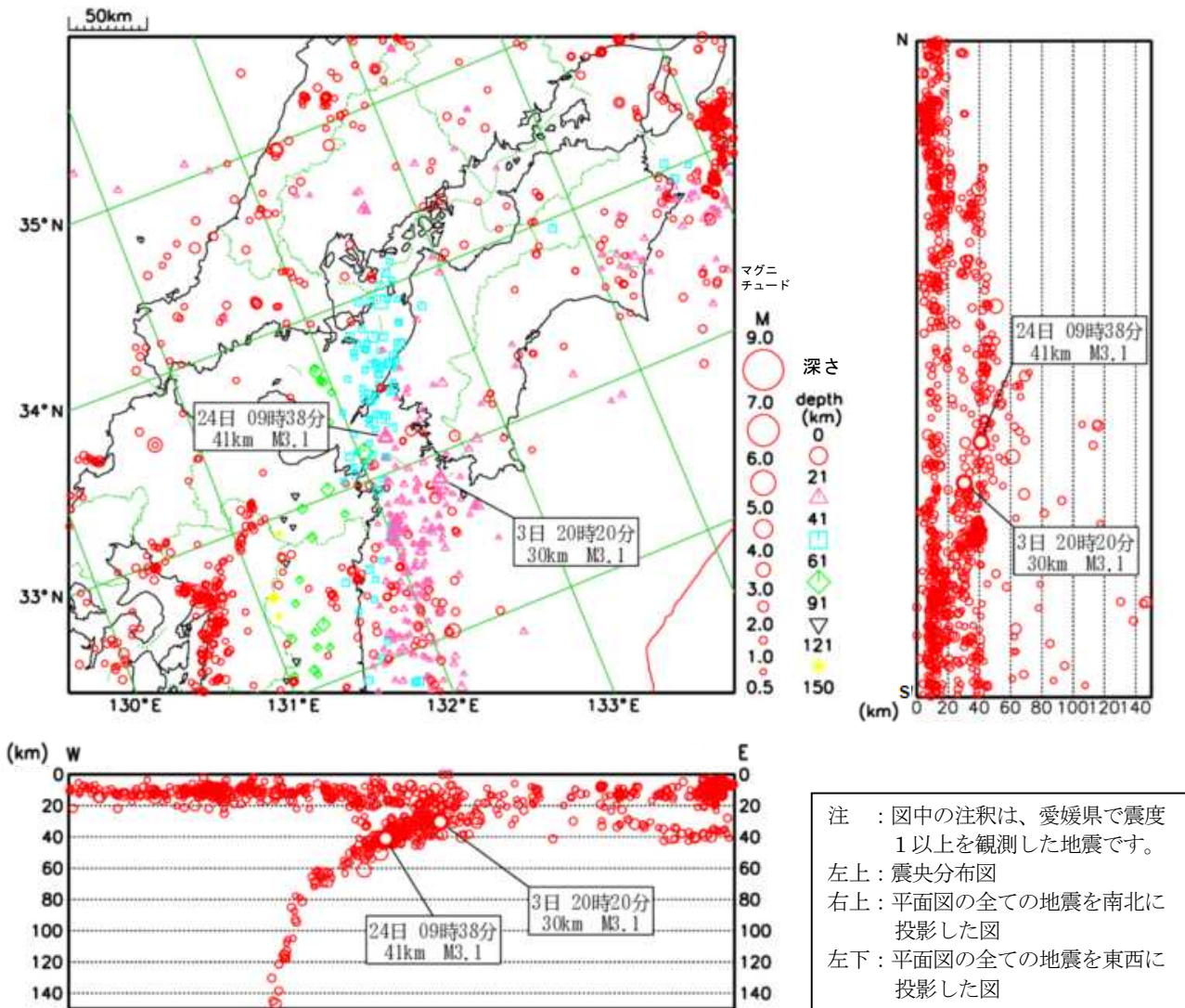
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2022年8月1日～8月31日]



注 : 図中の注釈は、愛媛県で震度1以上を観測した地震です。
 左上 : 震央分布図
 右上 : 平面図の全ての地震を南北に投影した図
 左下 : 平面図の全ての地震を東西に投影した図

震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模(マグニチュード)を表現しています。

2. 地震概況 (8月)

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は76回(先月は70回)、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は2回(先月は0回)でした。

3日20時20分 豊後水道の地震(深さ30km、M3.1)により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

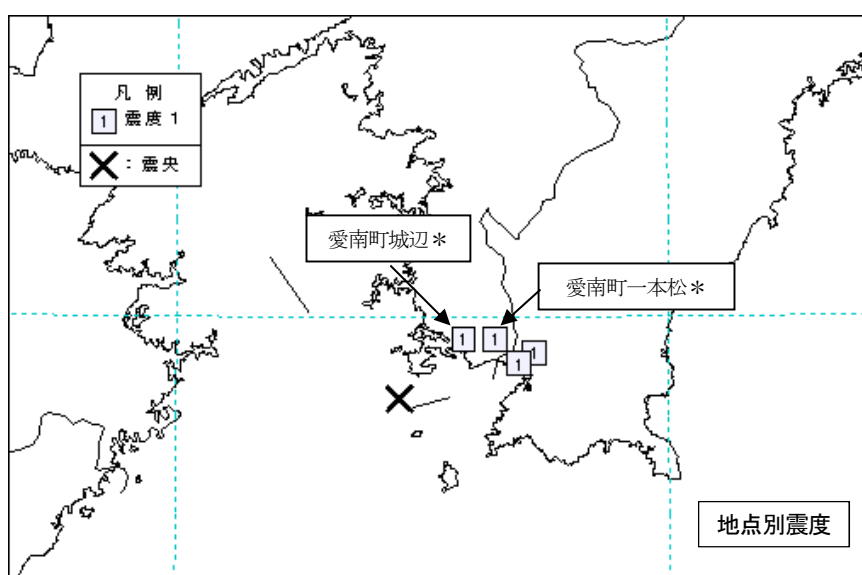
24日09時38分 豊後水道の地震(深さ41km、M3.1)により、愛媛県宇和島市で震度1を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（8月）

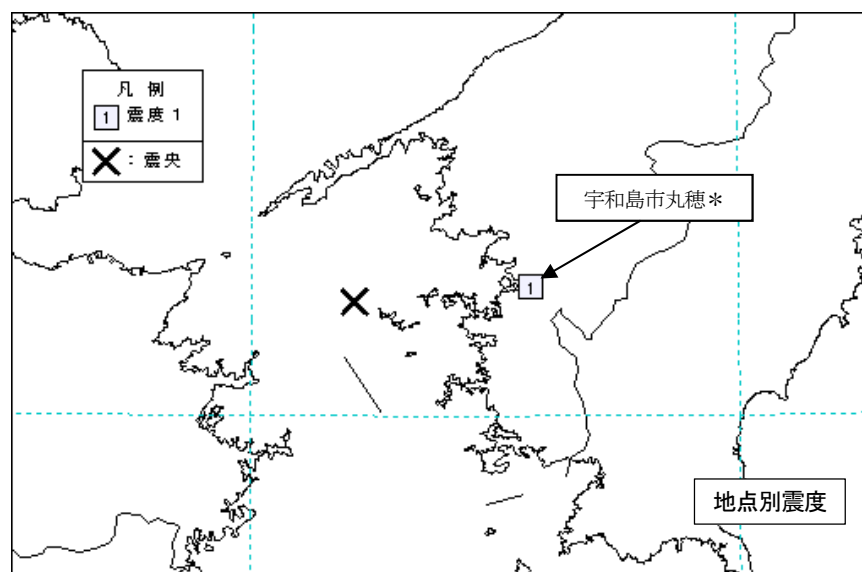
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2022年08月03日20時20分	豊後水道	32° 51.6' N	132° 27.2' E	30km	M3.1	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：愛南町一本松*、愛南町城辺*						
2022年08月24日09時38分	豊後水道	33° 11.7' N	132° 12.7' E	41km	M3.1	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：宇和島市丸穂*						

注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（8月）



8月3日20時20分 豊後水道



8月24日09時38分 豊後水道

5. 地震一口メモ

南海トラフ地震に関連する情報

南海トラフ全域を対象として、異常な現象を観測した場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価した場合等に「南海トラフ地震に関連する情報」を公表します。

- ・「南海トラフ地震に関連する情報」の種類及び発表条件

「南海トラフ地震に関連する情報」は、以下の2種類の情報名で発表します。

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	<ul style="list-style-type: none"> ・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） <p>※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります</p>

- ・「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワードと各キーワードを付記する条件

情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表します。

キーワード	各キーワードを付記する条件
調査中	<p>下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視領域内でマグニチュード6.8以上の地震^{※1}が発生 ・1カ所以上のひずみ計での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ・その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> ・監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く） ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
調査終了	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

※1 太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除きます。

詳細は気象庁ホームページをご覧ください。

ホーム > 知識・解説 > 南海トラフ地震について > 南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/nteg/info_criterion.html